

(一財) 松本ものづくり産業支援センター

NEWS

ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

第5号

令和2年8月発行



令和元年度 松本市製造業等活性化支援事業助成金活用事例
木質外装材のキャビンを搭載したコンセプトカー「とんがりトラック」



02.2.17「売れる地域ブランド育成・定着支援事業
松本市地域ブランドセミナー」



02.2.22「こどもプログラミング教室」



02.5.18「サザンガクコワーキングスペース営業再開」

就任のごあいさつ



理事長 嵯峨 宏一

このたび、令和2年7月8日に開催された理事会におきまして、理事長に就任いたしました、松本市副市長の嵯峨宏一です。

平成30年の財団設立から2年余りですが、前身の法人松本ソフト開発センターの設立まで溯ること31年間の歴史をもつこの財団の理事長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いです。

まず初めに、前理事長の坪田明男様には、理事長在任16年の間、松本ソフト開発センターの理事長になられ、松本地域のソフトウェア産業の育成及び発展を図られるとともに、財団の基盤強化に尽力されました。さらに、この間、まつもと工業支援センターとの統合や新法人への移行を実行され、多大な貢献をされましたことに対しまして、深く敬意を表します。

さて、長野県経済の現況を見ると、中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の停滞により、非常に厳しい状況にあります。その影響を受けて、企業の業況感も、製造業、非製造業ともに大幅に悪化しています。この世界的に重大な脅威の動向により、今後も、経済情勢は不透明感が増幅し、予断を許さない状況が続くものと予測されます。

このような状況の中で、松本地域の企業においては、ICT（情報通信技術）を活用した省力化の推進や業務プロセスの見直しを進め、経営基盤の強化を図る必要があります。

そこで、当財団は、松本地域のものづくり産業を取り巻く課題を踏まえ、その振興に向けて策定された「松本市工業ビジョン」に則り、「ものづくり産業支援」と「ICT導入・活用支援」を主体として、ビジョンの諸施策達成に向け、取組みを進めていきたいと考えています。

今後も、多様化・高度化する課題解決の窓口として、関係機関との連携を図りながら、ものづくり産業の振興のために全力を尽くす所存でありますので、一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

目次

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介	3~4P
2 ものづくり支援担当活動トピックス	5~6P
3 ICT支援担当活動トピックス	7~8P
4 ICT支援担当からのお知らせ	9P
5 関係機関	
(1)松本市（商工課工業振興担当／健康産業推進課）	10~11P
（農政課マーケティング担当）	12P
(2)松本商工会議所（中小企業振興部ものづくり支援グループ）	13P
(3)信州大学 学術研究・産学官連携推進機構	14P
(4)(公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター	15P

アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施してまいりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

得意分野

松本市工業ビジョンの推進事項である、①健康・医療分野、②食料品製造分野、③産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の推進に向け、当分野に関わる企業の皆様の課題・ニーズを重点的に聞きながら経営力向上に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①経営力向上に関わる支援全般
- ②革新的技術開発支援
- ③各種技術開発支援制度の申請支援
- ④ビジネスマッチング支援



豊口 稔 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンの3つの推進事項の重点的な推進を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。特に本年度は、6次産業化・農商工連携を重点とした地域ブランド化を推進します。

主な支援内容

- ①企業間の強みを結びつけ、新価値創造を支援
- ②食品産業の商品開発・販路開拓支援
- ③各種展示会出展支援、新規市場開拓支援
- ④伝統産業などの販路拡大支援



広橋 修 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、3つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」・「製品力」の強化に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①製造拠点の現場力強化(QCD+PSME)支援
- ②製品力強化(新技術・新製品開発、ビジネスマッチング)支援
- ③次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

得意分野

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

主な支援内容

- ①IE技術を活用し、製造力強化（工場／工程設計、自動化／合理化／省人化等）支援
- ②次世代ものづくり人材の育成
- ③企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦コーディネーター

得意分野

日々進化し続けるICT（※）にキャッチアップしながら、ICTを活用していくに企業活動を支えていくかを追求いたします。そのために、企業内及び企業外からICTを活用できる人材を育成していくことを支援していきます。

用語が専門的で敬遠しがちな方こそ、お気軽にお問い合わせください。

※ICT(情報通信技術)：Information and Communication Technology

主な支援内容

- ①経営者向け、一般職員向け、中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等開催
- ②サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ③ICTの導入・活用による経営の高度化支援
- ④ホームページ診断、ホームページの開設、ウェブショップ開設など、ICT関連の支援
- ⑤ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信、情報提供など



栗林 正好コーディネーター

得意分野

令和2年4月からICT支援コーディネーターに着任しました。主にサザンガクにて、サテライトオフィス入居企業、コワーキングスペース利用者そして地域の企業、事業者のICT活用全般のお手伝いをさせていただいております。

ICT 活用、IoT、クラウド、テレワーク導入のお悩み等々、お気軽にご相談ください。

主な支援内容

- ①企業、事業者のICT技術の導入・活用による収益性向上・新ビジネスの創出に向け、セミナー企画開催及び個社支援、情報提供
- ②ICTを活用できる人材、研究開発に取り組む人材育成のためのセミナー企画開催及び情報提供
- ③次世代の子どもたちへのICT教育支援
- ④業種や分野にかかわらず、サザンガクでICTを活用し、集い、掛け合わせるための各種取組
- ⑤主にサザンガクの利用者支援

ものづくり支援担当活動トピックス

長野県鐵構事業協同組合中信支部BCP講演会

2019年11月1日

長野県鐵構事業協同組合中信支部と青年部が主催し、税理士法人成迫会計事務所 飯島渉様、中村雄太様を講師として「BCP（事業継続計画）に伴う資金繰り対策」講演会が行われました。32名の出席でした。

一例として、2.5億円以上～5億円未満の売上で13.9名の企業の場合、必要資金総額（＝復興費用＋経営維持費用）は、半壊、復旧期間1ヶ月の場合は9,903万円、全壊、復旧期間3ヶ月の場合は1億7,369万円かかるとの試算が報告されました。



長野県鐵構事業協同組合中信支部BCP講演会

経営革新事例研究会 (株)デンソーエアクール穂高本社工場

2019年12月18日

●総勢48名 企業側33名

(株)デンソーエアクール 専務取締役 長谷川敦様、取締役 深澤治人様のご講演後、工場視察を行いました。

「溜めず、探さず、ささっと造る」をキーワードに改善を行うと更に改善ポイントが見えてくるという好循環が見られ、大変参考になりました。

次に(株)マクニカ 新事業本部 AI事業推進室長 西村武郎様から「最新プロジェクト事例から学ぶAI/IoTのすすめ」と題して、ご講演頂きました。AI応用の一事例として、木目や彫り物がある木材モーディングの欠陥検査にAIを用いる方法が紹介されました。

難しいワーク ～弊社のチャレンジ～

木材モーディング	
自然物	1つとして同じものは無いため、想定外のワークが溢れてくる
木目	木目が邪魔して不良品の量が分けづらい
彫り物	彫りが邪魔して不良品の量が分けづらい

難しいワークにチャレンジすることであらゆるワークへ対応できると考えます

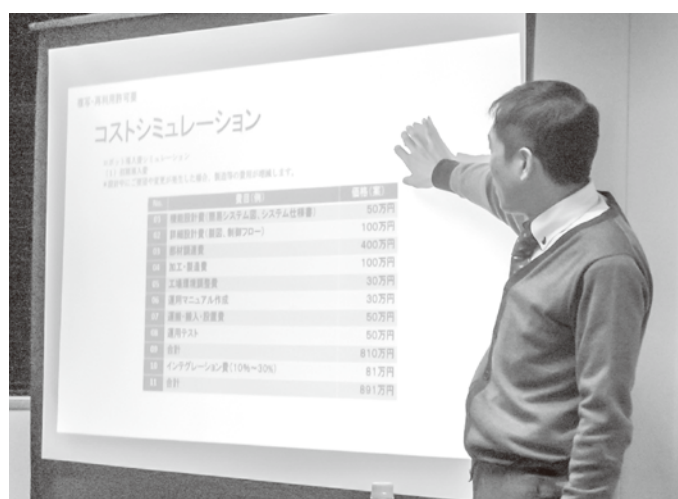
松本地域産学官連絡会視察研修 岐阜県ロボットS Iセンター

2020年1月27日

●19名参加（S I e r 企業4社、ユーザー企業3社）

岐阜県ロボットS Iセンターのロボットデモンストレーション視察と、当センターを管轄している（株）VRテクノセンター取締役横山考弘様によるご講演聴講と意見交換を行いました。（株）VRテクノセンターは、ロボット導入の支援機関であると同時に、S I e r でもあることが特徴です。

製造業に期待する生産カイゼン（ロボット導入）のステップとして、①カイゼン担当決定、②現状分析（整理）、③要求仕様取り纏め、④ねらいの明確化、⑤投資予算、⑥整理・検討、⑦ロボットシステムインテグレーターを紹介するという技術コンサルティング支援を行っています。一番重要なのは①カイゼン担当の決定であり、生産カイゼン推進者は経営者や製造リーダーではなく、素人の目線を持った方が望ましいとのことでした。



中南信自動化支援準備研究委員会

全国展開している先行有力団体をアドバイザーとして迎え、当地域内のS I e r 企業と産業支援団体で構成し、地域特性に合った自動化支援方法の準備研究を行う、中南信自動化支援準備研究委員会を開催しました。

構成メンバーは

- ①地域内でS I e r 事業を営む企業 4社
- ②地域支援団体 5団体14名
- ③ アドバイザー：先行地域・企業の支援団体（随時、招聘）4社

●活動記録

2019年10月28日に第1回目の会合を行い、4回の検討会を開催しました。後はコロナ対応の為メールベースでのやり取りを行い、関係部署上長への最終報告を2020年4月14日に行いました。

今後は、ユーザーを中心とした中南信自動化推進協議会（仮称）設立に向け

- ① 打ち手の具体化、3部会（導入、自立化、S I e r）の研究活動
- ② 運用資金獲得(2021年度)活動

の検討を行ってまいります。

ICT支援担当活動トピックス

令和元年11月にオープンしたサザンガク。

「コワーキングスペース」「サテライトオフィス」「テレワークオフィス」の3つの機能を集約した「ICT拠点施設」として、松本市の「人」や「情報」が集積する中心市街地「大名町通り」に立地。様々な職種、年代、性別の人々が集まり、掛けあわせり、新たなビジネスやイノベーションの発現を目指します。

サザンガクの核となるコワーキングスペースでは、サザンガクを拠点に活動するコアなメンバーの獲得を目指し、オープン以降、様々なイベントの企画、実施を試みました。

しかしながら、3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、コワーキングスペースが臨時休業となり、予定していた各種イベントもすべて延期せざるを得ない状況となりました。そのような中、コワーキングスペースの賑わい創出に向け、手法の再構築を検討しました。

新年度に入り、まず着手したのが「オンライン」によるセミナーの開催です。リアルな会場での集客が困難な中、松本地域中小企業向け人材育成の活動を止めないため、入居企業の(株)アイデアプラスとの共催により、「コロナに負けるな！集客・オンライン購入のためのInstagram初心者セミナー」をオンラインセミナーの形で4月28日に開催しました。周知期間は短かったものの、25名が聴講。その後は5月18日に同じくオンラインの形で「情報セキュリティセミナー」を開催、6月からは(株)アイデアプラスとの共催による定期ミニセミナーをオンライン、リアル参加のハイブリッド形式で毎週開催しています。



Instagram初心者セミナー



情報セキュリティセミナー

6月からは長野県創業・サービス産業振興室と松本市との連携の枠組みを活用し、創業支援相談拠点として「信州スタートアップステーション（SSS）」をコワーキングスペース内に設置。創業に関する相談を常時受けられる体制を構築しました。さらに7月からは同じく公益財団法人長野県中小企業振興センターとの連携の枠組みにより、よろず支援拠点松本サザンガクサテライトを設置し、さらなる相談体制の充実を図りました。

これらの結果、臨時休業前はわずか1名であったコワーキングメンバー（月会員）は7名（延数・8/1現在）となり、ドロップイン（一時利用）も含め、コワーキングの賑わいにつながってきています。



SSSオープニングセレモニー

16区画を整備したサテライトオフィスには、オープン前から松本市内を始め、東京などの県外も含め、多くの企業から問い合わせをいただきました。結果、オープン時点で10区画、現在は15区画に入居があり、それぞれ事業を展開しています。

今後は各企業の強みを繋ぎ合わせ、サザンガク発のコラボレーションによるプロダクトやサービスの誕生を目指します。そのため、入居企業のネットワーク構築に繋がるミニイベントを定期的に行う予定です。

コロナ禍の現在、取り組んでいる活動としては、入居企業や地域企業の活動をコミュニティマネージャーがインタビュー形式で発信する「サザンガク企業インタビュー」を、サザンガクYouTubeチャンネルにて公開しています。現在3社のインタビューを公開し、さらに今後入居企業3社のインタビューを実施、公開予定です。



多くの企業が入居するサテライトオフィス



テレワークオフィスの作業風景

テレワークオフィスでは、子育て世代の女性を中心に、オープン後多くのテレワークを希望する方から問い合わせがあり、現在70名超のワーカーを登録しています。一方、ワーカーに対し、発注できる業務量は、ワーカーの需要に対して不足している状況が課題となっていました。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、受注量の減少や、ワーカーも休校となった子どもの対応といった理由により、3月、4月はテレワークオフィスが休業となる日もしばしば発生しました。

5月以降は地域企業の他、名古屋を中心とする都市部企業の業務受注量が少しずつ増えてきました。今後も引き続き、人手不足の課題を抱える地域中小企業の課題解決となるバックオフィスセンターとして、サザンガクテレワークオフィスの機能を周知広報していきます。

ICT支援担当からのお知らせ

社内業務のアウトソーシング をセンターが承ります。

社内で済ませたい軽作業でも、忙しくてやれる人がいない。そんなときは、センターのテレワークオフィスにおまかせください。

オフィスは万全のセキュリティが確保され、作業はセンターがクオリティコントロールするので安全・安心です。

人手不足に悩む企業の皆さまを、「テレワークオフィス」の人材活用で支援します。

中小企業の
皆さまへ

製造業・流通・小売業の皆様へ

アンケート・販促情報・商品情報などの
入力や集計作業
おまかせください！

松本テレワークオフィスが、
しっかり、丁寧に、サポート！

松本テレワークオフィスは、働きたいけど、
働けないひとを、応援します。
●お迎えがあるから、働けない。
●介護があるから、働けない。
●急に休めないから、働けない。
●働ける時間に制約があるから、働けない。

おまかせください！

アンケート入力、集計、データ入力など、社内で済ませたい軽作業でも、忙しくてやれる人がいない。そんなときは、松本テレワークオフィスにおまかせ。アミレクター、ワーカーの体制が確立しており、セキュリティも品質も安心。今年の11月には、市中心部に新たなテレワークオフィスの拠点が開設され、より対応業務の範囲と体制が強化されます。

業務作業系	エクセルデータの整理・作成など	1枚 ¥2,000～
ワード文書作成	A4 1ページ ¥2,000～	
マーケティング業務系	アンケート入力・集計	¥100/件～
	差別化調査などのアンケート作成	¥100/件～
デザイン制作系	文字校正	¥1,500/ページ～
	画像加工(トリミング)	¥45/点～
ウェブ制作系	HP・SNSのテキスト更新作業	¥500/回～
	画像アップ	¥300/点～
システム開発系	アプリケーションの動作確認(テスト)	¥2,000/時間～

ご依頼、ご相談、お問い合わせ
33GAKU《サザンガク》
〒390-0874 長野県松本市大手3丁目3番9号 ☎0263-87-3581

制作会社・印刷会社・広告会社の関係者の皆様へ

**文字校正や
画像加工など、
おまかせください！**

松本テレワークオフィスが、
しっかり、丁寧に、サポート！

松本テレワークオフィスは、働きたいけど、
働けないひとを、応援します。
●お迎えがあるから、働けない。
●介護があるから、働けない。
●急に休めないから、働けない。
●働ける時間に制約があるから、働けない。

おまかせください！

文字校正や画像加工など、社内で済ませたい軽作業でも、忙しくてやれる人がいない。そんなときは、松本テレワークオフィスにおまかせ。アミレクター、ワーカーの体制が確立しており、セキュリティも品質も安心。今年の11月には、市中心部に新たなテレワークオフィスの拠点が開設され、より対応業務の範囲と体制が強化されます。

業務作業系	エクセルデータの整理・作成など	1枚 ¥2,000～
デザイン制作系	文字校正	¥1,500/ページ～
	画像加工(トリミング)	¥45/点～
ウェブ制作系	HP・SNSのテキスト更新作業	¥500/回～
	画像アップ	¥300/点～
マーケティング業務系	アンケート入力・集計	¥100/件～
	差別化調査などのアンケート作成	¥100/件～
システム開発系	アプリケーションの動作確認(テスト)	¥2,000/時間～

ご依頼、ご相談、お問い合わせ
33GAKU《サザンガク》
〒390-0874 長野県松本市大手3丁目3番9号 ☎0263-87-3581

関係機関

(1) 松本市 (商工課工業振興担当、健康産業推進課)

松本市では、松本市工業ビジョンのもと、「健康・医療産業」、「食料品製造業」「産業用ロボット等の高度な産業用機械」等重点産業の推進や、ICTの活用促進、健康経営の推進等、松本市の製造業の活性化のための施策に、松本ものづくり産業支援センターと連携して取り組んでおります。

1.所在地・連絡先

(1) 商工課 工業振興担当
〒390-0874 松本市大手3丁目8-13
TEL.0263-34-3270
FAX.0263-34-3008
Mail:shoukou@city.matsumoto.lg.jp

(2) 健康産業推進課
〒390-0811 松本市中央1丁目18-1
TEL.0263-34-3296
FAX.0263-34-3297
Mail:kigyou-r@city.matsumoto.lg.jp

2.業務内容

- (1) 工業振興担当
 - ・工業活性化の推進に関する事
 - ・産学官連携事業に関する事
 - ・経営近代化の推進に関する事
 - ・工業団地の管理に関する事
 - (2) 健康産業推進課
 - ・健康産業の振興に関する事
 - ・松本地域健康産業推進協議会事務局に関する事
 - ・松本ヘルス・ラボに関する事
- ・成長産業の育成に関する事
 - ・企業事務所の誘致促進に関する事
 - ・地場産業振興事業に関する事
 - ・ICT人材育成プラットフォームに関する事
 - ・企業立地の促進に関する事
 - ・健康寿命延伸新需要創造事業に関する事

3.各種助成・補助制度

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会等の出展に際し、経費の一部を補助します。

限度額 国内25万円 海外50万円

ビジネススタイアップ商談会事業

「諏訪圏工業メッセ」への出展料の一部を松本市が負担します。

諏訪圏工業メッセ 2020 10月15、16、17日

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究、異分野への進出など新たなチャレンジを支援します。

助成率1/2 限度額100万円 1事業1回

※重点的に育成を進めるべき産業分野の場合

助成率2/3 限度額200万円 1事業1年度1回、3回限度

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場等を利用して、新商品の開発等を行う場合、工場等賃借料を補助します。

補助額 賃借料の1/2以内 限度額8万円/月
期間12カ月

製造業等人材育成事業補助金

企業人材スキルアップのための研修費を補助します。

補助率1/2以内 限度額受講者1名2.5万円
1事業者10万円

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に事務所を新規開設等する場合、賃借料を補助します。

補助率1/2 限度額最大800万円
補助期間最長5年間

※事務所を取得する場合も別途補助が適用されます。

テレワークオフィス設置支援事業補助金

ICT技術を活用して、若者、女性、IJUターン者へ新しい働き方
を提供するため、新しく事務所を開設する企業を支援します。

補助額 賃借料の1/2以内 限度額7.5万円/月
補助期間12カ月

工場等設置事業助成金

工場団地等で、工場を新設、増設する場合、固定資産税相
当額を助成します。

助成期間3年間

このほかにも、様々な補助制度があります。

地域中核企業に対する 補助制度を 創設しました!!

松本市が中枢中核都市に指定され、その機能
強化を目的とした「地域中核企業等の成長の促
進」に係るハンズオン支援（経済産業省主管）
の対象に本市事業が採択されました。そこで地
域未来投資促進法の認定企業等、地域の中核と
なり得る企業の成長を後押しするため、既存の
補助制度の拡大をします。

1.対象事業者

松本地域農商工連携ブランド化推進協議会が認定する地域中核企業

- (1)経済産業省により地域未来牽引企業の認定を受けた企業
- (2)地域未来投資促進法に基づき、長野県から地域経済牽引事業計画の認定を受けた企業
- (3)地域再生法に基づき、長野県から地方活力向上地域特定業務施設整備計画の認定を受けた企業
- (4)その他、他分野を含め域内の他の事業者に大きな影響を及ぼす企業

※地域資源活用振興事業計画の認定事業者等

2.補助内容

	区 分	新 制 度
ア	活性化支援事業	・ 地域中核企業の実施する新製品・新技術の研究・開発に係る費用 補助率2/3以内 限度額500万円 3回以内
イ	販路拡大支援事業	・ 地域中核企業の実施する海外展示会への出展 出展料及び借上料：補助率10/10 輸送費、通訳費、渡航費：補助率1/2 限度額100万円 3回以内 ・ 海外E Cサイトの開設・出展等初期費用、口座開設、知的財産権出願等：補助率10/10 海外広告・宣伝等：補助率1/2
ウ	施設等整備事業	・ 地域中核企業が拡張、移転等に伴い事務所、工場等の新・増設を行う場合、その整備に 係る費用 補助率1/10以内 限度額1,000万円
エ	施設等設置事業 (固定資産税補助)	・ 地域中核企業が拡張、移転等に伴い事務所、工場等の新・増設により新たに取得した建物、 償却資産に係る固定資産税について、その税相当額を補助 補助率10/10 最長3年間

(農政課マーケティング担当)

松本市では、松本市工業ビジョンの重点的推進事項の1つとして食料品製造業の重点的な推進を掲げています。

松本市農政課では、商工課や（一財）松本ものづくり産業支援センター等と連携しながら、農業者や食品製造業者の橋渡しを行っています。地元産農産物の原料供給先を探している、規格外の農産物を有効活用したい、農業者と一緒にあってお土産品を開発したい等、さまざまなニーズに対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

農業者以外の方も活用できる支援策として次の制度があります。

6次産業化支援事業補助金

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

補助対象者

- (1) 農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
- (2) 市内で農産物直売所を運営する者
- (3) 松本市地産地消推進の店として登録された店舗の経営者（具体的には次項）

補助内容：補助額

人材育成

補助対象経費：販売、加工及び経営の強化並びに技術の向上に関する研修会等参加経費（受講料、旅費等）

補助額等：上限2万5千円（補助率1/2）

商品開発

補助対象経費：新たな商品開発に要する経費（研究開発を伴うモニタリング費、パッケージ開発費）

補助額等：上限100万円（補助率1/2）

販路開拓

補助対象経費：県外又は海外における販路開拓のための物産展への出展及び直売所交流等に要する経費（出展負担金、輸送費、旅費、装飾備品借上料、筆耕翻訳費）

補助額等：国内（長野県外）
上限25万円（補助率1/2、出展負担金のみ10/10）
海外上限50万円（同上）

利子補給

補助対象経費：施設整備等に係る借入金に対する利子及び信用保証料、新たな商品開発に伴う施設整備に係るものに限る。

補助額等：利子補給期間60カ月以内
（補助率 利子1/2、信用保証料4/5）

その他

販路開拓については、年1回、通算3回まで申請できます。（類似する市補助金との併用不可）
当該年度中に、国・県の補助金等の交付を受けた場合は対象外です。（利子補給は除く。）

「松本市地産地消推進の店」登録制度

地産地消を推進するため、松本地域産の農畜水産物及びその加工品を積極的に取り扱う市内の飲食店等を「松本市地産地消推進の店」として登録し、広く周知する制度です。登録事業者には登録看板を交付します。

- 松本地域産品とは…………… 農産物は松本市、塩尻市、安曇野市及び東筑摩郡産のもの
畜水産物は長野県内産のもの

- 飲食店、宿泊施設等……………松本地域産品を主とした複数の料理を年間又はシーズンで
店内表示・提供
- 食品加工事業所等……………製造する加工食品の主な材料が松本地域産品で、商品にその
旨を表示
- 直売所、小売店、量販店等………松本地域産品の売場を設置し、わかりやすく表示・販売
（概ね8カ月以上）

（登録看板）



お問い合わせ：松本市役所農林部農政課 マーケティング担当 〒390-8620 松本市丸の内3番7号 電話34-3221

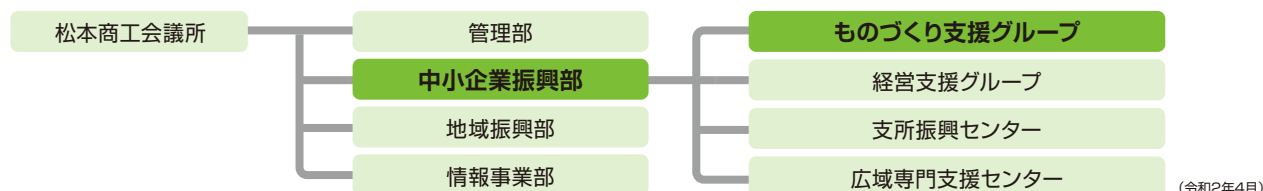
(2) 松本商工会議所 (中小企業振興部 ものづくり支援グループ)

1.所在地

〒390-8503 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館 1F
TEL.0263-32-5350
FAX.0263-32-1482
ホームページ:<https://www.mcci.jp/>



2.組織



3.令和2年度重点事業

昨年11月に第39期の新たな3年間がスタートし、新体制のもと「より多くの支持と信頼が得られる商工会議所」を目指して、中小企業の持続的発展と地域の一層の活性化を目的とした事業展開を実施しております。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞等に対応する取組を中心に、真に必要とされる商工会議所として各種支援事業を推進して参ります。

ものづくり企業支援事業

1.中南信エリア

自慢の逸品発掘・売込逆商談会

令和3年1月下旬開催予定 会場調整中

中南信17商工団体が推進役を担い、食品製造業者がバイヤー企業に売り込む提案型の商談会。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事前マッチング制を導入する予定です。8月下旬以降、当所ホームページや各地商工団体・支援機関を通じて売り手企業を募集します。

2.次世代現場リーダー養成 (松本機械金属工業会共催事業)

製造業者の経営力向上を目的に、将来を期待されている製造現場や管理現場におけるリーダーの養成と現場改善を目的に開催、本年度は第4期が9月スタート予定です。

3.各種補助金申請支援・事業計画策定支援

新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、前向きな事業展開に取り組む事業者を支援する各種補助金制度（小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金など）の申請支援と、事業計画策定支援を実施しています。

4.従業員向け能力開発研修会・セミナー

松本市中小企業能力開発学院（松本商工会議所研修センター）において、従業員のスキルアップに関わる資格対策、人材育成といった各種研修会を開催。また松本市製造業等人材育成補助金の活用を推進します。（実施例）日商簿記受験対策、初級管理者養成、現場リーダー養成、労務人事管理、WEB活用セミナー、構造物鉄工作業技能士受験対策、とび技能士受験対策等

5.松本工業高等学校への支援

関係機関との共催事業として実習用工具支援、松本工業高等学校人材育成支援ネットワークと連携して、生徒による企業見学、高校での企業説明会等を実施しています。

6.貿易証明書発行

原産地証明書・インボイス証明・サイン証明等の発給を通じて、企業の海外取引等をサポートします。

7.関係団体、関係機関との連携

松本商工会議所ものづくり工業部会をはじめ、松本機械金属工業会・青年部、中信溶接協会、松本工業高等学校人材育成支援ネットワーク等の団体、松本ものづくり産業支援センターなど支援機関との連携をして参ります。

(3) 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

1.所在地

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 (信州地域技術メディカル展開センター1階)
TEL.0263-37-2091 FAX.0263-37-3049
Mail:ken-sui@shinshu-u.ac.jp
ホームページ:<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo/>

2.信州大学 学術研究・産学官連携推進機構の紹介

大学には、基本的使命として「教育」と「研究」に加え、第3の使命「社会貢献」が求められています。信州大学は、教育、研究の付加価値を高め、知の成果を積極的に社会へ還元するため、産学官連携を積極的に進めています。その窓口として、学術研究・産学官連携推進機構を位置づけています。

◆知(地)の拠点の活用&大学内のインキュベーション施設

松本、伊那、佐久、善光寺の主要4圏域に配置されたキャンパスと学内のインキュベーション施設。各インキュベーション施設は、共同研究等のために活用できます。

長野(教育)キャンパス	長野(工学)キャンパス	上田キャンパス	松本キャンパス	伊那キャンパス
◎所在地/長野市 ◎学部/教育学部	◎所在地/長野市 ◎学部/工学部 ◎インキュベーション施設 /信州科学技術総合振興 センター(SASTec)、国 際科学イノベーションセ ンター、長野市ものづく り支援センター(UFO)	◎所在地/上田市 ◎学部/繊維学部 ◎インキュベーション施 設/ファイバーイノ ベーション・インキュ ベータ施設(Fii)、先 進植物工場研究教育セ ンター(SU-PLAF)、 オープンベンチャー・イ ノベーションセンター (OVIC)、上田市産学 官連携支援施設 (AREC)	◎所在地/松本市 ◎学部/人文学部、 経法学部、理学部、 全学教育機構(共 通教育)、医学部 ◎インキュベーション 施設/信州地域技 術メディカル展開セ ンター(CSMIT)	◎所在地/南箕輪村 ◎学部/農学部

◆先鋭領域融合研究群(部局横断型研究)

- (1)新たな学問領域の創出を視野に、学際・複合・新領域に取り組み、社会実装までを見据えたイノベーションを起こす「先鋭材料研究所」、「バイオメディカル研究所」、「社会基盤研究所」の3つの研究所。
 - (2)特定領域において、本学の個性と特徴ある研究を集約し、信州大学の強みを伸ばす「国際ファイバー工学研究拠点」、「山岳科学研究拠点」、「航空宇宙システム研究拠点」の3つの研究拠点。
- 先鋭領域融合研究群の詳細はホームページをご覧ください。

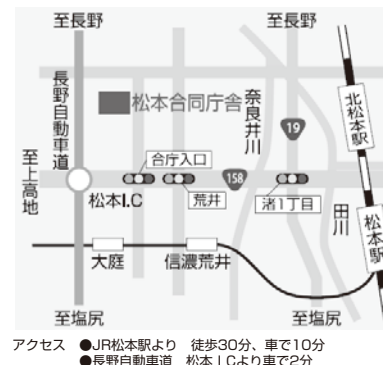
◆SOAR(信州大学 研究者総覧・機関リポジトリ)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/soar/index.php>
信州大学の研究者の情報と研究成果を確認いただけます。
共同研究、受託研究等、連携のための検索にお役立てください。

(4) (公財) 長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

1.所在地

〒390-0852 長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780 FAX.0263-47-3380
Mail:alps@tech.or.jp
ホームページ:http://www.tech.or.jp/alps/



2.組織

長野県テクノ財団は本部と5か所の地域センターからなり地域産業をサポートします。

アルプスハイランド地域センターは、松本市、安曇野市、塩尻市、大町市及び北安曇郡、東筑摩郡、木曽郡の町村を担当しています。

3.メンバー構成 (2020.4月現在)

事務局長、コーディネータ (2)、事務職員

4.業務内容

(1) 設置目的

長野県における地域産業資源を活用しつつ、技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進し、地域経済の活性化と自立化に資することを目的とする。

(2) 具体的業務内容

- ・産学官連携による先端技術研究開発の促進支援および新規事業の「シーズ」探索
- ・大学等と企業との人的交流を活性化させるためのネットワーク構築支援
- ・技術者や経営幹部育成のための研究会やスクールの開催

5.2020年度事業計画

I、産学官交流事業

- 1、アルプス広域コーディネータ連携事業
- 2、大学・高専・企業との産学官連携交流事業

Ⅲ、共同研究等推進事業

- 1、提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
- 2、提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業
- 3、提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業
1) 産業用燃料電池実用化支援

Ⅱ、新産業創出支援事業

- 1、コーディネート活動事業
- 2、[拡] アルプスイノベーション研究会事業
- 3、「旬」の技術研究会事業
- 4、松本地域産業活性化事業
- 5、地域IoT実用化研究会事業
- 6、[新] 中农信自動化支援事業

Ⅳ、人材育成事業

- 1、技術者のための実務教育パワーアップ講座事業
- 2、地域企業人材挑戦力育成事業
- 3、[新] 価値づくり力パワーアップ講座事業
- 4、夏休み親子ものづくり教室事業

V、広報等事業

- 1、メール配信サービス
- 2、ホームページの充実

関係機関 (市外局番0263)

松本市 商工観光部 商工課 工業振興担当 / 健康産業推進課

TEL.34-3270 FAX.34-3008

TEL.34-3296 FAX.34-3297

松本市 農政部 農政課 マーケティング担当

TEL.34-3221 FAX.36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ

TEL.32-5350 FAX.32-1482

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

TEL.37-2091・3527 FAX.37-3049

(公財) 長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

TEL.40-1780 FAX.47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

(一財) 松本ものづくり産業支援センター (松本市情報創造館庁舎 1F)



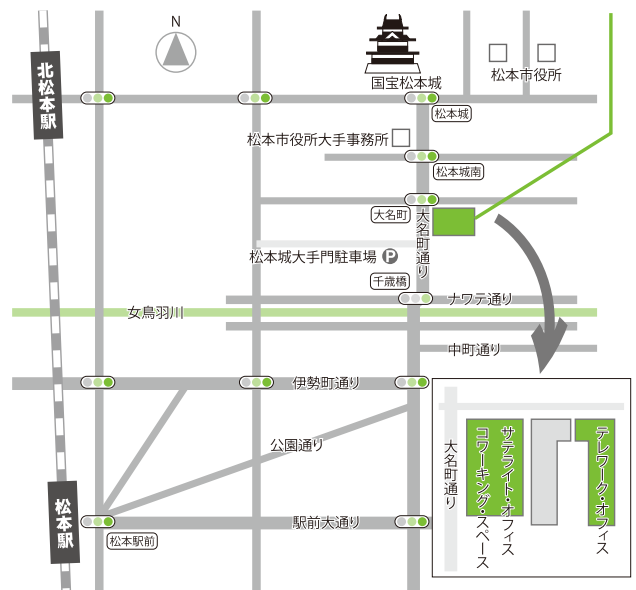
一般財団法人

松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田4010-27
TEL.0263-40-1000 FAX.0263-40-1001
ホームページ <https://www.m-isc.jp/>

☐ テレワークオフィスWADA

サザンガク (NTT東日本大名町ビル)



サザンガク

matsumoto collaboration space

〒390-0874 長野県松本市大手3-3-9
TEL.0263-33-0339
ホームページ <https://33gaku.jp>

☐ テレワークオフィス
☐ コワーキングスペース
☐ サテライトオフィス

33GAKU
サザンガク
matsumoto collaboration space